

令和8年度入学者選抜試験問題（第1回選抜）

—山形大学大学院社会文化創造研究科—

（社会文化システムコース）

筆記試験（日本語）

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は、6ページあります。
- 3 試験が開始されたら、直ちに答案用紙に受験番号を記入してください。
- 4 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

次のページから問題冊子の本文が始まります。

以下の設問に、日本語で答えなさい。

注意点：論説文の文体で書くこと。要点を箇条書きにするのではなく、文章の形でまとめること。

設問Ⅰ 次の文章は、伊藤龍平^{いとうりょうへい}『ツチノコの民俗学 妖怪から未確認動物へ』（青弓社、2008年刊）の一部です（7～9ページ 表記を一部変更しました）。この文章を読んで、後の問いに答えなさい。

非公開

非公開

問1. 文章中の二重下線部 a～e の読みをひらがなで書きなさい。(配点5点)

問2. 下線部①「本物のツチノコに出遭うこと以上に不測の事態である」とあるが、なぜそれが「不測の事態」なのか。その理由を、本文中の語を用いながら、60～80字で書きなさい。(配点5点)

問3. 下線部②「ツチノコについて考えることには十分に意味がある」とあるが、なぜ「十分に意味がある」のか。その理由を、本文中の語を用いながら、60～80字で書きなさい。(配点5点)

問4. 下線部③「この路線で研究が進められていたなら、未確認動物の民俗学の地平が開けていたはずである」とあるが、現実にはそうならなかったのはなぜか。その理由を、本文中の語を用いながら、80～100字で書きなさい。(配点5点)

問5. 本文の内容について、以下の語句を用いながら100～120字で要約しなさい。(配点10点)

妖怪 心意伝承 未確認動物 民俗学

設問Ⅱ 次の文章は、高瀬隼子^{たかせじゅんこ}氏による文章（『朝日新聞』2024年4月7日）からのものです（表記を一部変更しました）。この文章を読んで、後の問いに答えなさい。

非公開

非公開

問6. 下線部④「目玉をほじった後で、指のにおいを嗅ぐ習性があること」とは、この文章においてどのようなことを示すための事例として書かれているのか。その内容を30～40字で書きなさい。(配点5点)

問7. 下線部⑤「小説はフィクションなのに、紛れもないわたしが知られてしまうと感じる」とあるが、筆者はなぜそのように感じるのか。その理由を30～40字で書きなさい。(配点5点)

問8. 下線部⑥「心を隠せていないくせに、正体は隠していたかった。」とはどういうことか。その内容を60～80字で書きなさい。(配点5点)

問9. 以下の㉗～㉜は本文中の内容と合っているかどうか。答案用紙の適切な方に丸をつけて答えなさい。(配点5点)

- ㉗ 筆者は、多くの人がへそのゴマを掃除した後の指のにおいを嗅ぐものだと思っていた。
- ㉘ 筆者は、「何でも書いてしまう」ことについて反省し、そうしないようにしたいと思っている。
- ㉙ 二十代の頃の筆者は、自分の情けない弱みを見せることによって、自分の心を隠さないようにしていた。
- ㉚ 筆者が事務の仕事をしていた頃に通っていた小説創作教室は、毎週木曜日にあった。
- ㉛ 筆者は、自分の想像もつかない他者の隠し事について、価値のないものであると考えている。